第２回　国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用
将来ビジョン検討委員会　次第

日　　時：令和３年５月１３日（木）　１５：００～１６：００

場　　所：琉球大学　医学部管理棟３階　大会議室

１．開会

・令和３年度委員の変更について　資料１

・前回議事要旨の確認及び前回質問事項に対する回答　資料２

２．議事

（１）跡地利用の進め方について　資料３

（２）意見聴取（跡地利用に係る具体的な案について）　資料４
⇒各委員に、ご意見を伺う（具体的な跡地利活用方法や必要な施設等）

３．閉会

資料1

国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用将来ビジョン検討委員会

委員名簿

令和3年4月1日現在

	分類	規程上の記載	委員
1	大学関係者（上原地区キャンパス移転推進本部）	理事（病院・地域医療・キャンパス移転担当）	大屋　祐輔
2		理事（財務・施設・キャンパスマネジメント担当）	大城　功
3		医学部長	筒井　正人
4		上原地区キャンパス移転推進本部 事務部長	三沼　仁
5	西原町	西原町職員	與那嶺　剛（総務部長）
			小橋川　生三（建設部長）
6	西原町民代表	西原町民代表	石原　昌貴（上原自治会長）
			城間　盛順（棚原自治会長）
7	沖縄県	沖縄県職員	池田　竹州（総務部長）
			嘉数　登（商工労働部長）
			大城　玲子（保健医療部長）
8	沖縄総合事務局	沖縄総合事務局職員	本道　和樹（経済産業部長）
9	学識経験者	学識経験者	小野　尋子
			大城　肇

※青字は変更のあった委員

資料2

令和２年度第１回　国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用
将来ビジョン検討委員会議事要旨

日時：令和２年１０月３０日（金）１０：００～１１：００
場所：本部管理棟４階　第一会議室
出席者：
（琉球大学）大屋理事（キャンパス移転担当）、福治理事（財務・施設・キャンパスマネジメント担当）、石田医学部長、移転推進本部　島居事務部長
（西原町）建設部　玉那覇部長
（西原町民代表）上原自治会　石原会長、棚原自治会　城間会長
（沖縄県）総務部　池田部長（平田財政統括監代理出席）、商工労働部　嘉数部長、保健医療部　大城部長（真栄城医療企画統括監代理出席）
（沖縄総合事務局）経済産業部　本道部長
（学識経験者）小野准教授（琉球大学工学部）、大城前琉球大学長

【議事】
（１）将来ビジョン検討委員会について
　将来ビジョン検討委員会の設置目的や審議事項について、資料１に基づき、事務局から説明があった。

（２）委員長、副委員長の選任について
　委員長は、委員の互選により大城肇委員が選任された。副委員長は、委員長の指名により大屋委員が選任された。

（３）上原地区キャンパス移転の経緯について
　移転の経緯及び移転事業の概要について、資料２に基づき、事務局から説明があった。

（４）将来ビジョン検討委員会の今後の検討の流れについて
　今後の検討の流れについて、資料３に基づき、事務局から説明があった。

（５）その他
（主な意見等）
〇委員
　那覇市与儀から西原町上原に移転した当時、跡地利用はどのように検討したか。
〇事務局
　どのように検討されたか確認の上、次回報告する。

◯委員
　資料３について、令和２年度第２回で公共の意見等を把握と記載されているが、具体的にどのように意見を把握する予定か。
◯事務局
　これから具体的な検討を行う予定であり、事前に調整させていただきたい。
◯副委員長
　西原町や沖縄県の将来の都市計画に関する情報を収集し、整理した上で、跡地利用のビジョンについて、県や西原町等のご意見を伺いたいと考えている。
◯委員
　その流れで異論はない。例えば、てだこ浦西駅の近辺に大型ショッピングモールが建設される予定である。周辺の建物等、全体のグランドデザインを踏まえて検討いただきたい。

◯委員
　自己利用、賃貸、売却等、幅広い可能性がある。サウンディング調査は来年度の予定だが、軽いヒアリング等を今年度中に実施したほうがよい。交通量、通過人口、居住人口等、地域に与えるインパクトについてアセスの情報を整理し共有したほうがいいと考える。
◯副委員長
　地域住民のご意向や周辺環境を調査する必要があると考えている。都市計画との整合性を図る必要があるため、西原町と調整しながら調査を進めたい。まず幅広く意見を把握し、可能性がある跡地利用について令和３年度にサウンディング調査したい。
◯委員長
　移転に伴う人や交通の流れを整理し、地域へどのような影響を与えるかを事前に把握することが重要と考える。西原町、地域からの意見を伺いたい。
◯委員
　跡地に関する具体的なビジョンはこれから検討する。民間も含めた需要を把握した上で、検討していきたい。
◯委員
　現在の用途地域では大規模店舗、事務所、旅館等の利用制限があるが、大規模店舗の建設を希望する。用途地域が変更される可能性はあるか。
◯委員
　用途地域は変更可能だが、道路が狭いため、大規模店舗が建設されると周辺地域に影響が大きい。今後の用途整理において、大きく変わる可能性は低いのではないか。
◯委員
　西原町は、那覇広域都市計画区域に入っており、周辺環境も考慮しながら検討していく。

◯委員
　広く県民の教育や医療向上に資する方向性で検討するのか、産業の育成を含めた方向性で検討するのか、本委員会の視点が明確でないという印象を受けるため、本委員会で議論いただきたい。

令和元年度のアジア経済戦略構想推進・検証委員会において、医療機関等との連携を視野にいれた健康医療バイオ分野を中心とした産業集積を図るための新たな産業振興拠点の形成に関する可能性調査の実施について提言があり、今年度、調査を実施し、拠点の在り方、上原キャンパス跡地を含めた県内の拠点候補地を比較検討しているところである。調査結果を本委員会で共有することで、跡地利用の方向性について県としても前向きな議論ができればと考えている。

〇委員長

本委員会は、色々な可能性を想定し、率直に意見交換いただく場だと考えている。県の施策とのすり合わせも必要なため、今後の検討にあたり、情報提供をお願いしたい。

〇副委員長

どのような視点で検討するのか、第１回ということもあり本日の議論では難しいと考えているが、今後、検討していきたい。現キャンパスの建物を活用するパターンも想定しながら、自由に議論していきたい。再生医療に関して、県や国の支援をいただき、いくつかのプロジェクトが進んでいる。特に、体性幹細胞の産業利用の仕組みを構築しており、第一号の産業界への提供が近々行われる予定である。引き続き、県や関係者と再生医療関連の研究・産業との密な関係構築に努めていきたいと考えている。

〇委員

過去に医学部・病院の県内における経済波及効果を本学学生が検証したことがある。今後、パーソントリップの調査も必要と考えている。

〇委員

跡地利用について、何らかの医療機能を残す議論をする際、沖縄県の医療計画に関わる部分があれば、適宜、意見交換したい。

〇副委員長

医療機能を残す場合、大学とは別の組織となる可能性が高く、その場合は、その事業者が県と意見交換することになると考える。跡地利用のビジョンを検討する段階では、県の回復期病床変更計画も念頭に置きながら意見交換をしていきたいと考えている。

〇委員

教育、産業振興も含めた議論が重要だと考えている。地域振興において、地域の連携が必要なため、西原町におけるまちづくりの考え方もお聞きしたい。バイオ産業だけではなく、他の分野の活用など、様々な可能性を議論したい。

〇委員

自己利用の可能性はあるのか。

〇副委員長

現時点で可能性はあまり無いと考えているが、地域のためとなるビジョン及び売却となればできるだけ有効なビジョンを本委員会で検討したい。

資料3

上原地区キャンパス跡地利用の進め方（案）

2021/4/26時点

検討内容／作業内容

R3年度　12月　R4年度以降

【跡地利用将来ビジョン】

※大きな方向性の整理
- コンセプト
- 土地利用ゾーニングの方向性

将来ビジョン

【跡地利用推進計画】

- 周辺地域等の意向把握
- 民間事業者のニーズ等の把握
- 都市基盤整備手法等の検討
- 課題の整理

跡地利用推進計画

【意思決定】
- 上原地区キャンパス跡地利用検討部会、移転推進委員会で審議し、琉球大学役員会にて審議・決定

【土地利用に向けた手続き】
- 都市計画等の変更
- 事業者との協議
- ・・・

検討体制

将来ビジョン検討委員会 → R3年度内に設置 跡地利用推進協議会（仮称） → 琉球大学 →

琉球大学上原地区キャンパス跡地利用検討部会 →

（参考）
R2.10.30開催
第１回委員会資料

将来ビジョン検討委員会の今後の検討の流れ(案)

検討開始時期	今後の検討の流れ	
	将来ビジョン検討委員会	学内における検討手続き
R元年度	●将来ビジョン検討委員会の発足	
R2年度	●将来ビジョン検討委員会における今後の検討の流れを確認【第１回委員会】 ●琉球大学における検討状況を報告,跡地利用に係る公共の意見等を把握【第２回委員会】	●将来ビジョン検討委員会の意見を踏まえ、大学として実現性を検討（自己利用・賃貸・売却等多様な手法を検討。） ●取扱いに配慮が必要な既存施設の取扱いについて検討
R3年度	●沖縄振興に資する跡地利用の在り方について、民間の意見等を広く把握するための調査手法を検討（サウンディング等）【第3回委員会】 ●上記の調査を実施し、民間の意見等を把握【第4回委員会】 ●上記調査の結果を踏まえ、具体的な跡地利用の在り方について検討【第5回委員会】	●（適宜）移転推進委員会の開催 ●各種調査（有害物質特定施設廃止に伴う土壌汚染調査、既存建物のアスベスト調査等）のリストアップ、実施時期の検討 ●移転前に実施できる調査を実施
R4~6年度	●(必要に応じて委員会開催) ● ● ● ●	●キャンパス機能停止後まで実施できない調査を実施
R7年度以降		●建物の撤去（必要に応じて） ●土壌汚染・アスベスト対策（必要に応じて）
	跡地利用開始	

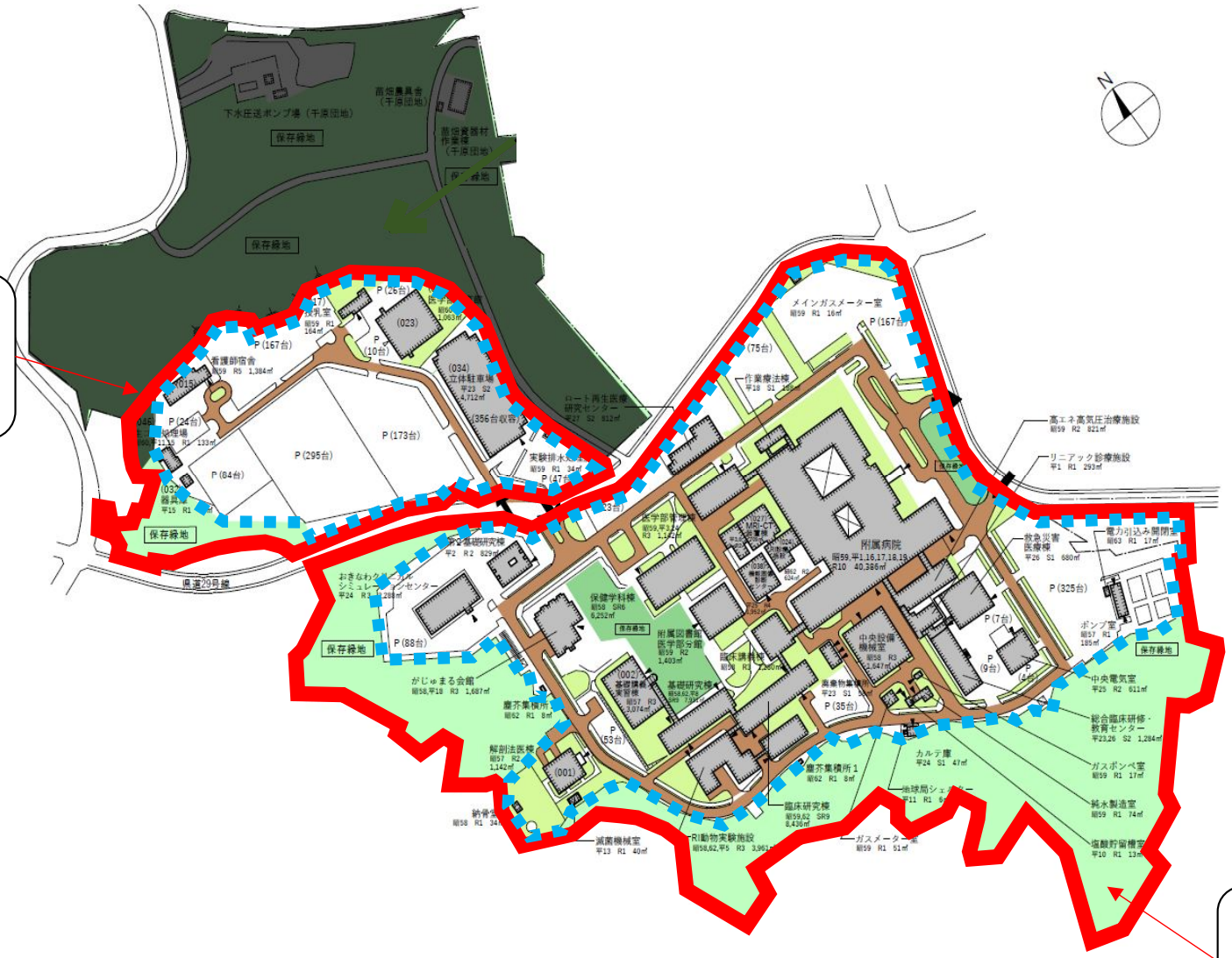
資料4

【上原地区キャンパス移転対象地区の現状】

●上原地区キャンパスの移転対象面積は、約17.6ha（平面地は約14ha）
●都市計画法上の用途地域：第一種中高層住居専用地域　⇒　用途制限あり

※第一種中高層住居専用地域の用途制限の例：大規模店舗、事務所、旅館、遊技場、工場等としては利用不可

駐車場ゾーン
約3.7ha
（平面地約3.4ha）



医学部・病院ゾーン
約13.9ha
（平面地約10.6ha）

長田交差点
沖縄国際大学
我如古交差点
国道330号線
沖縄病院
琉球大学
千原キャンパス
西原IC
沖縄県埋蔵
文化センター
上原キャンパス
県道29号線
坂田交差点
西原高校
沖縄キリスト
教学院大学
ハートライフ
病院
県道29号線
国道329号線
サンエー
西原シティ
宜野湾区公民館
玉木病院
沖縄カトリック小・中・高
嘉数中
サンエー
宜野湾記念病院
長田小
ヒージャーガー
嘉数小
かねひで
森川
千原
沖縄道
徳佐田
棚原
上原
伊集
幸地
翁長
西原町
内間
掛保久
小橋川
嘉手苅
呉屋
小波津
西原町役場
東中
©ONE COMPATH 地図データ©INCREMENT P